

# 10月24日は NMOSDの日 となりました

特定非営利活動法人MSキャビン理事長  
中田郷子さんからのコメント

NMOSD (Neuromyelitis Optica Spectrum Disorders ; 視神経脊髄炎スペクトラム障害) は、1894年に最初の症例を報告したフランスの神経内科医ユーゼーン・デビック先生の名前からデビック病とも呼ばれていました。このたび、ソプラノ歌手でありNMOSD患者さんでもある坂井田真実子さんの発案で、MSキャビンおよび日本多発性硬化症ネットワークは、デビック先生の誕生日である10月24日をNMOSDの日とさせていただきます。この病気に関する理解を深め、多くの方に関心を持っていただくことを願っています。

<https://www.mscabin.org/>



## NMOSDとは

NMOSDは、自分の細胞を間違えて攻撃してしまう「自己免疫疾患」のひとつで中枢神経系(脳、脊髄、視神経)の病気です。主に、脳や脊髄、視神経に炎症が起こるのがこの病気の特徴です。人によって、炎症が起こる部位が違うため、症状もさまざまです。急な視力の低下、視野が欠けるなどの症状や、まひや脱力(運動機能障害)、しびれや痛み(感覚の障害)、排泄障害、止まらないしゃっくり、吐き気、日中の強い眠気などの症状がみられます。患者さんの約9割が女性で、平均35歳前後で発症しています。

特定非営利活動法人MSキャビン. 視神経脊髄炎完全ブック第1版. 2018, p8, 14, 18-27.

中外製薬のNMOSD疾患啓発サイト

## 「視神経脊髄炎(NMOSD) Online」

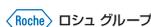
NMOSDの情報を提供し、患者さんと家族の  
思いを未来へつなぐサイトを目指しています



すべての革新は患者さんのために



中外製薬株式会社



ロシュグループ

ENS0021.01  
2020年9月作成